

本日の懇談内容について

本日はお忙しい中、「2013 年度草加の明日の保育を考える市長懇談会」にご参加いただきましてありがとうございます。さて本日は 60 分という限られた時間での開催となりましたために、別紙要望書の全ての内容について懇談することは難しいと予想されます。大変恐縮ではございますが、本日は要望書の中から以下の内容を中心に懇談をすすめていただくことにいたしました。何卒よろしく願いいたします。

【懇談項目】

<保育料の引き下げについて>

私たち父母連が毎年行っているアンケートでは、ここ 10 年、毎年毎年 1 位に挙げられる殿堂入りとも言われる要望があります。それが『保育料の引き下げ』です。市長懇談会でも毎年お願いしていますが、市からは判で押したかのように毎年同じ回答です。市の財政状況が潤沢でないことは重々承知ですが、『子は宝』という格言がある通り、子育て支援に少しでもお金を回していただけないでしょうか。

<病児保育の拡充、育成保育の充実について>

①病児保育の拡充

私たち父母連が毎年行っているアンケートの結果、保護者からの要望 2 位に挙げたものが『病気の時に預けられる施設の拡充』でした。ファミリーサポート事業の継続、非常に感謝しております。しかし、受け入れていただける預け先がほとんどなく、いざ利用したくてもできないことが多いのが現状です。病児を預けられる環境、特に施設型の病児・病後児保育施設の拡充を切に願います。

②育成保育について

公立保育園のみでの育成保育受け入れとなると、待機児童の緩和や、民間認可保育園でのノウハウの蓄積にも問題があると考えます。是非とも、民間認可保育園でも育成保育を実施するよう検討してください。

育成保育対象児が時間外保育や延長保育を希望している場合は、今後も希望している園児全員が利用できるような必要な人的配置をお願いいたします。

また、近年は育成保育対象児が増えているという認識ですが、現場の保育士、看護師や保育課の職員を対象とした障害に関する研修・学習を充実させてください。

<職員がいつまでも働き続けたいくなるような職場環境づくりを>

私たちのアンケート要望の第 3 位が『保育職員の増員』、4 位が『臨時職員の待遇改善』となっています。保育士が少ないために、施設の枠はあるのに保育園に入園できない、という問題が今年度になって顕著になったと思われまます。集まらない原因は、待遇の低さにあるのではないかと私たちは考えています。待機児童解消のため保育施設が増える中、よりよい条件の施設に人が流れるのは必然と考えます。これからの待機児童対策は、施設を作るだけでなく、職員の確保も同時にしていかなければならなくなるのではないのでしょうか。ぜひ賃金増や退職金支給を含めた臨時職員の待遇改善をお願いします。

<子ども・子育て支援新制度について>

草加市子ども子育て会議の事務局から提出される草案が、子ども子育て会議に諮られることとなりますので、その草案を作成する段階で次のことを是非とも盛り込んでください。

①短時間保育は 8 時間以上とすること。②長時間保育は 12 時間以上とすること。③保育料をはじめとする保護者の出費（給食費や備品代も含む）を現状より悪化させないこと（応能負担とすること）。④保育園・家庭保育室への入園申し込みの手続きが、今まで以上に保護者への負担を強いることの無いようにすること。⑤草加基準（面積、設備、職員数、保育士比率、看護師/栄養士/技能員の配置）は現行通りかそれ以上とすること。

<その他（当日参加者から）>